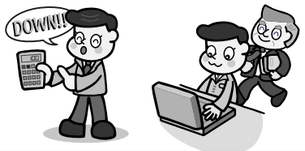
みんなの市役所　窓口紹介



伊豆の国市の行政窓口をご紹介するこのコーナー。今回ご紹介するのは、会計課と議会事務局。会計課は伊豆長岡庁舎１階にあり、杉原政晴収入役のもとで市のお金（公金）の出し入れを行う部署、また議会事務局は同庁舎２階にあり、岩崎正義議長をはじめとする24人の市議会議員の事務局として、議会をお手伝いする部署です。

現在の状況を、課長・事務局長にインタビューしてきました。

第９回・会計課、議会事務局（伊豆長岡庁舎内）

インタビューの内容

Ｑ１．合併後の業務は順調に行われているか？
Ｑ２．今後実施する大きな事業、または課題は？
Ｑ３．市民の皆さんに一言

会計課

電話055-948-2906　（課長１人、課員４人）

主な仕事
公金の支払い、税金・料金等の収納、県証紙の販売など

伊豆長岡庁舎正面玄関を入ってすぐ左側が指定金融機関派出所兼、会計課の窓口。公共料金のお支払いはこちらでどうぞ。

Ａ１．４～６月に、前年度（旧町）の未収・未払い金の処理をしましたが、旧３町それぞれ異なる会計処理システムなので、多くの時間を要しました。その後は、市の会計規則や予算執行規則などに準じ、監査委員（※）による毎月の出納検査を受けて、順調に業務を遂行しています。

Ａ２．市として効率的な会計処理システムの樹立が課題です。現在、旧３町それぞれの長所を取り入れながら業務にあたっています。今この時期に市の会計処理の基礎固めをし、将来に繋ぎたい。また同時に、公金の適正な執行・管理をし、情報公開に対応できるようにしていきたいと思っています。

Ａ３．私たち会計課は、市の内部チェック機関としての誇りを持って職務にあたっています。皆さんの税金を一円も無駄にしないように、公金の適正執行・管理をし、最小の支出で最大の行政効率を生むように努めていきます。

（回答：課長　土屋隆三）

議会事務局

電話055-948-1417　（事務局長１人、課員３人）

主な仕事
議会・議員に関すること、監査委員事務局に関することなど

伊豆長岡庁舎２階西側にある議会事務局

Ａ１．旧町それぞれ議会の運営の仕方が違ったので、すり合わせに努力していますが、12月定例会も終了し、議会そのものは順調です。また、旧町時代は本会議中心だった議会も、市では常任委員会中心になり、より広く、深く議論するようになってきています。現在は、市としての議会や議会事務局のあり方を模索・構築しながら業務を進めています。

Ａ２．監査委員事務局の独立が課題です。現在、職員が議会事務と兼務していますが、市になり多様化・細分化した膨大な行政事務をチェックする監査委員には、専任の職員を配置した方が、より深い監査を進めていけると思います。

Ａ３．議場には、誰でも見学できる傍聴席があります。特に一般質問は市民の皆さんの生活に直結した内容が多いので、もっと市政に関心を持って傍聴に来ていただきたい。議会開催の数日前には、新聞に一般質問などが載るので、これからは気に留めてみてください。

（回答：事務局長　遠藤孝道）

※監査委員…市が公正で合理的な行政運営（予算の執行や財産管理・一般行政事務など）をしているかチェックする機関。市では、２人の監査委員を選任している。
代表監査委員　飯田晃司（南條）
監査委員　飯田史朗（田京）

議会の様子（傍聴席側から）

市議会について

市議会とは、伊豆の国市の教育、福祉、産業、建設などの住民福祉の向上について、市民の代表者である市議会議員・市長が話し合う場のことです。

市議会はいつも開かれているわけではなく、ある一定の期間だけ開かれます。定期的に開く定例会、必要に応じて開く臨時会、各分野毎の常任委員会などの種類があり、本市の定例会は年４回、３月、６月、９月、12月に開かれます。議会で話し合う内容は、市の予算や条例に関する決定のほか、市政全般について議員から市長に方針を問いただす一般質問などがあります。議決事項や一般質問の回答について詳しく知りたい人は、定例会毎に発行する「議会だより」をご覧ください。

※次回はあやめ会館・伊豆長岡庁舎内の総務部を紹介します。

第９回　いずのくにの女（ひと）

このコーナーでは、伊豆の国市内に住む、働くまたは縁のある輝いてる皆さんを紹介していきます。

今回は、１月８日（日）に開催する伊豆の国市成人式の伊豆長岡地区実行委員・関野みな美さんを紹介します。

関野（せきの） みな美（み）さん（花坂）

「友人の誘いではじめた実行委員でしたが、今では打ち合わせ日が待ち遠しくて。先日はファミレスで８時間も議論してしまいました（笑）」。

昔の同級生たちと集まるのが楽しくてしかたがない関野さんは、現在、自宅から都内の女子大に通い、管理栄養士の勉強をする毎日。「高校生の頃から、人の役に立ちたい、とりわけ世界の貧しい国々の人を手助けしたいという思いがありました。大学卒業後は地元に就職するつもりですが、いつか、栄養士の知識や経験を生かして、海外協力活動をするのが夢です」。そんな関野さんに、大人になるってどういうこと？と聞くと、「まだよく分かりません。でも、苦手な人や嫌な事から逃げない人は、大人だなと思います」と答えてくれました。

近年マスコミで批判されるような成人式については、「もし、私たちが一生懸命企画した成人式をメチャメチャにしてしまう人がいたら、とてもショックです。でも、私たちの同級生はそんなことは絶対にしません」とのこと。

最後に伊豆の国市成人式をPRしてもらいました。「私たちが作ったしおりには、県知事さんや市長さんだけでなく、小・中学校の恩師にもメッセージをお願いしました。新成人には当日配るのでお楽しみに。新成人以外の人も、私たちの晴れ姿をぜひ見に来てください」。成人式は市内三カ所で、午前十時から開催します。彼女たちの二十歳の門出をみんなで祝福に行きましょう。

みんなでチャレンジ！

広報クイズ

毎月、正解者の中から抽選で10人に図書券（500円分）をプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしています。**【応募方法】**はがきにクイズの答えと住所、氏名(フリガナ)、年齢(学年)、職業、電話番号、**身近な話題や感想、ご意見などを書き添え**、平成18年１月13日（金）までに下記へお送りください。いただいたご意見などは、広報で紹介させていただく場合もあります。**【あて先】**〒410-2292　長岡340-1　伊豆の国市　企画部　総合政策課

【先月の答えと当選者】答えは**「除夜の鐘」**。正解者は、37／38人でした。当選者は次の皆さんです。

【当選者：敬称略】高橋宏美、片岡光枝、川口周子、土屋伸子、杉本よしえ、石井綾子、笛吹文男、木内明子、勝俣きよ子、佐々木一二三

おえかきロジックに挑戦！

下のルールに従ってマスを黒く塗りつぶしていくと、何かの絵柄ができあがります。その絵柄が何かをお答えください。

問題												
											1	1
		2	2	2	2			2	2	2	2	
		2	3	3	3	7	7	3	3	3	2	
2	2											
	2											
	10											
	10											
	2											
	4											
	6											
3	3											
3	3											
2	2											

ルール

- **タテ・ヨコにある数字は、各列で連続して塗られる黒マスの数を表す。タテ・ヨコの数字が矛盾しないようにマスを塗る。**
- **１列に数字が２つ以上ある場合は、その順番どおりに黒マスが並ぶ。隣り合った数字の黒マス同士の間は１マス以上開ける。**